

基礎の天端均し不良

年度	2004年完成(2004年調査)
場所	東京都豊島区
構造	木造在来軸組工法
階数	3階建て
延べ面積	100㎡
用途	一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

基礎天端均しの不良。
土台下の隙間に挟み込んだ木片の腐朽や潰れにより、土台の安定を欠き、建物の耐力や耐久性に悪影響を与える。



写真1

解説

基礎の天端均しが悪く、基礎天端が凸凹しているため、凹んだ部分に木片を挟んで土台を据え付けている。

木片が腐朽したり、潰れたりすると土台の安定を欠くことになる。

柱直下に位置していて、軸力の集中するところでもあり、建物の耐力及び耐久性への悪影響が危惧される。

公庫仕様書 3.3.10(床下換気)を参照。